

※工事店・電器店様へのお願い……工事が終わりましたら、この説明書はお客様に必ずお渡しください。

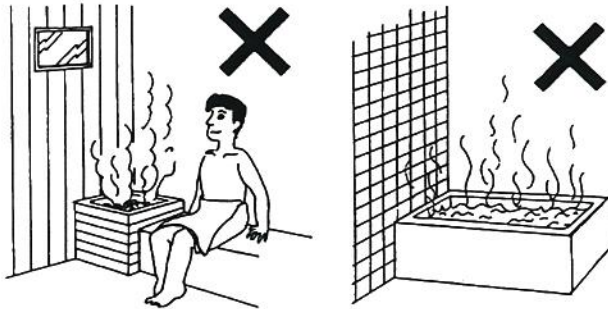
## 施工前に

- 取付前に取扱説明書をよくお読みになって理解してからお取付け下さい。
- この器具は一般通常環境、器具の周囲温度 $20\pm 15^{\circ}\text{C}$ ・湿度 $65\pm 20\%$ の屋内天井・壁面直付兼用器具です。
- 器具銘板に表示されている電圧の $\pm 6\%$ の変動内でご使用下さい。電圧が低すぎるとランプが点灯しなかったり、寿命が短くなります。高すぎる場合はランプ電流が流れすぎて寿命が短くなるおそれがあります。また、直流電源では使用出来ません。
- しろうとの電源工事は危険です。電源の工事は、工事店・電器店(有資格者)におまかせ下さい。
- 一般通常環境が不明な場合は、そのまま使用しないでお問い合わせ下さい。

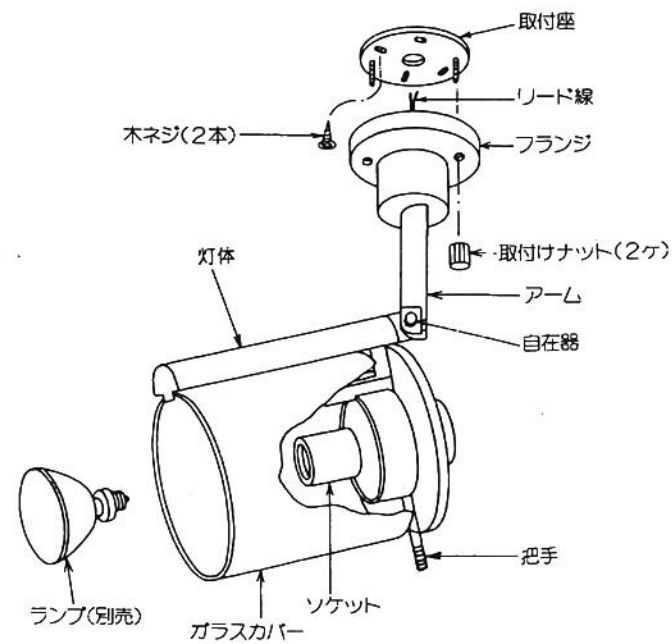
保存用

## この器具は… (屋内天井・壁面直付形)

- 屋内天井・壁面直付兼用器具です。  
屋外や水気のかかる所には取付けしないで下さい。



## 各部の名称 (この図は一部抽象化した共通部品図です。)



## 仕様

- 天井・壁面直付兼用器具です。

品番	YS1305	YS1306
電源電圧	100V	100V
消費電力	60W	60W
適合ランプ (別売)	ダイクロハロゲン球 E-11 60W	ダイクロハロゲン球 E-11 60W
仕上げ	白塗装	シルバー塗装
重量	約0.4kg	約0.4kg
灯体可動範囲	左右約 $320^{\circ}$ 回転	前後約 $90^{\circ}$ 首振り

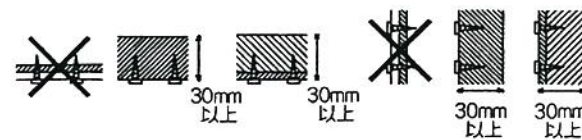
- 別売 適合ランプ ダイクロハロゲン球 E-11 60W

## 施工上のご注意

- パッキングケースから器具を取り出し品番(ケースと器具銘板が合っているか)及び付属部品、器具の損傷の有無をお確かめ下さい。

- 取付場所の確認  
高温や振動の激しい所、一般通常環境以外の所、サウナ風呂、傾斜天井には取付けしないで下さい。湿気の多い所、水気のかかる所には取付けしないで下さい。

- ネジ止めのご注意  
ベニヤ板等の薄い所へ取付けしないで下さい。使用後のネジ穴の利用はネジが抜ける場合があります。器具の落下の原因になります。

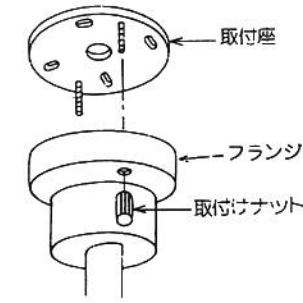


- 照光距離により壁面等変色する事があります。  
必ず60cm以上は壁面、天井、床より離して下さい。

## 取付方法

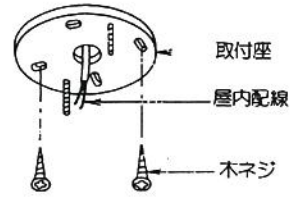
### 1. 取付座の取外方法

- 取付ナット(2個)を外して取付座をフランジから取り外して下さい。



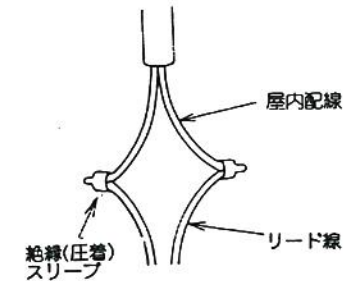
### 2. 器具の取付方法

- 取付座に屋内配線を通してから、木ネジ(2本)で確実に取付けて下さい。



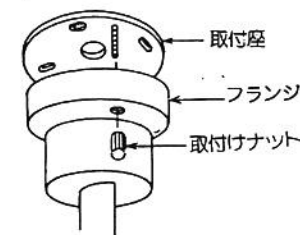
### 3. 電源の接続方法

- 屋内配線と器具側のリード線との結線は絶縁スリーブでしっかりと圧着して下さい。



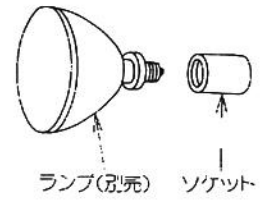
### 4. フランジの取付方法

- フランジを取付座にはめ込んで、取付ナット(2個)でしっかりと締め付けて固定して下さい。



### 5. 電球の取付方法

- 電球をソケットに合わせて(時計の針の方向に)最後まで確実にねじ込んで下さい。



### 6. 確認

- 取付状態、点灯状態をお確かめ下さい。

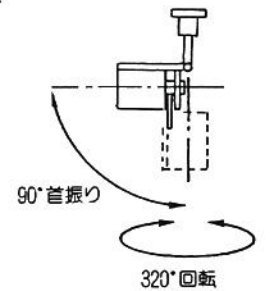
## お客様へご注意とお願い

- ランプ交換やお手入れのときは、必ず電源を切って下さい。
- 点灯中や消灯直後は、ランプ及び器具が高温ですのでご注意ください。
- 器具の改造や部品の追加は、絶対に行なわないで下さい。
- 清掃の際は器具取付方法の逆の順に器具を外して行なって下さい。
- 商品に物をのせかけたりおおったりしないで下さい。

## ご使用方法

- 電源スイッチを操作して下さい。  
ランプは点灯→消灯致します。

- この器具は照光角度をお好みの方向に向けていただけます。  
灯体が左右に約 $320^{\circ}$ 回転し、前後に約 $90^{\circ}$ 首振り可能です。



## お掃除の方法

### 1. 電球の交換方法

- 必ず電源を切って下さい。
- ランプは指定されたランプをご使用下さい。  
取付方法の5を参考にしてソケットに差し込んで下さい。

### 2. ガラスカバーのお手入れ方法

- 必ず電源を切って下さい。  
ガラスカバー乾いた柔らかい布で汚れを拭き取って下さい。

裏面もご覧になって正しくご使用ください。



■あかりのチェック

おかしいと思ったら修理の依頼をする前にちょっとチェックを!

電 源	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードはコンセントにきちんと差し込まれていますか? (ぬれた手のままで絶対に取り扱わないで下さい。必ず手をふいてからにしてください。)</li> </ul>	
ラ ンプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランプがソケットにきちんと差し込まれていますか?</li> <li>蛍光灯の両端が黒くなっていたり、点灯中にちらついたりしたときは新しいランプとお取替え下さい。</li> </ul>	<p>斜め下からソケットにランプを差し込み、ランプを押し上げて下さい。</p>
	<p>押さえバネを少し持ち上げてランプをソケットに接続して下さい。</p> <p>押しながら右へ回せば固定できます。左へ回せばはずれます。</p>	<p>ランプを抜き取ったとき</p> <p>ランプが入っているとき</p> <p>ランプをソケットに差し込み、回転させて下さい。</p>
点 灯 管 (グローランプ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>点灯管がゆるんでいませんか?</li> <li>点灯管が古くなり、点灯に時間がかかるようになったときは、新しい点灯管とお取替え下さい。</li> </ul>	

■蛍光灯取扱時のご注意

- 器具は5°から35°の範囲でご利用下さい。低い温度で使用した場合、不確実な点灯、光のちらつき、明るさの低下などが発生することがあります。高い温度で使用した場合、不点の原因となります。その他、回路電流の増加から安定器が過熱し焼損や火災の原因となります。
- 頻繁な点滅はランプ寿命を著しく短くしますのでご注意ください。
- 引火する危険のあるもの(ガス、スプレー、石油等)は近くで使用しないで下さい。やむをえず使用する場合は防爆型の器具をご利用下さい。
- 点検・清掃は定期的に行なって下さい。ほこりやごみが付着しますと暗くなりますので定期清掃して下さい。点灯管が悪くなりますとチカチカと点滅を繰り返して蛍光灯の寿命を短くしますので早めに交換して下さい。接触や点灯管が悪いとランプの端部に黒化が発生し寿命が短くなります。ランプが点滅を繰り返したり、端部が赤くなり正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切り、ランプが冷えてから手袋を着用して、交換してください。器具の過熱や配線の故障の原因となります。

■インバータ器具取扱時のご注意

- インバータ器具の近くでは、光高周波方式リモコンが誤動作することがまれにありますので、ご注意ください。
- 近くでラジオ(AM)を使用されると雑音が入る場合がありますので、ご注意ください。
- 調光比は約60%ですが、室温、器具形状によって多少変化いたします。
- 調光状態にするまで数秒かかることがあります。
- 室温が極端に低いと段階調光状態では点灯しないことがあります。室温が低い間は100%点灯でご利用下さい。

この説明書をよくごらんのうえ正しくご使用ください。

■特にご注意ください

電源工事(配線工事)は工事店、電器店におまかせください。しろうと工事は危険です。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●放電管(インバータ除く)は、電源の周波数に応じて東日本用(50Hz)と西日本用(60Hz)の区別があります。周波数(50Hz・60Hz)をお確かめください。</li> </ul> <p>長野県北部地区 60Hz又は50Hz 但し北安曇郡は50Hz 静岡県は富士川を境として東は50Hz</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●灯部や電球を紙や布でおおわないで下さい。</li> <li>●電球に着色、テープ貼り等はしないで下さい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●器具の構成部品(スイッチ、ソケット、基板等)は交換しないで下さい。</li> <li>●器具の改造(部品の追加、加工等)はしないで下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●器具を燃えやすい物、又ストーブ等放熱性のある物の近くや、サウナ等では使用しないで下さい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●指定外の使用(天井付けを壁付け等)はしないで下さい。</li> <li>●指示シールの貼り付けてある器具はその指示に従って下さい。(セードのはずし方、取付順序)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●器具のすきまに金属類(針金など)を絶対に差し込まないで下さい。</li> <li>●器具や電球に物をあてないで丁寧に取り扱い下さい。表面の傷は後日破損の原因になります。</li> </ul>

■保守とお手入れ

お手入れ・お掃除・ランプ(電球)交換の際は、必ず電源を切ってから行ってください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●お手入れの際、必ず電源を切り器具温度が下がってから行って下さい。火傷をする恐れがあります。又、器具の丸ごと水洗いは絶対にしないで下さい。</li> <li>●HID灯は光源のガラスが破れたままの状態では絶対に点灯しないで下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交換電球は必ず器具のランプシールと同ワット同質の電球をご使用下さい。</li> <li>●光源、スタータ等の取付けはソケットに確実に取付けて下さい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●お掃除はハケ、柔らかい布又は中性洗剤を浸した布で拭き取って下さい。湿ったままでは取付けしないで下さい。</li> <li>●シンナー、ベンジン等揮発性のものでも拭いたり、殺虫剤をかけたりにしないで下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●品番は器具銘板に表示されています。電球の種類はランプシールに表示されています。</li> </ul>